

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑯ 公開実用新案公報 (U)

昭55—24673

⑰ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑱ 公開 昭和55年(1980)2月18日

F 28 F 3/06

7820—3L

B 23 K 1/12

7516—4E

F 28 D 9/00

7038—3L

審査請求 未請求

F 28 F 21/08

7146—3L

(全 4 頁)

⑲ 熱交換器

宇都宮市西大宮 2—5—34

⑳ 実 願 昭53—107395

㉑ 出 願 人 富士重工業株式会社

㉒ 出 願 昭53(1978)8月4日

東京都新宿区西新宿 1 丁目 7 番
2 号

㉓ 考 案 者 茂呂信光

㉔ 代 理 人 弁理士 清瀬三郎 外 1 名

㉕ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 冷媒流路となるスリットを設けたチューブ 1 の上下面に端部に流路孔となる孔を設けたプレート 2 を重ね合わせて冷媒流路管 a を構成し、該冷媒流路管 a を複数個流路連通用のスペーサを介して積重ね、該各冷媒流路管 a 間にジグザグ状に折曲構成したフィン 6 を介装し、これらをロー付して一体構造とするアルミ又はアルミ合金製熱交換器において、スペーサとして内側に向いた面に補強とフィン 6 端のストンペを兼ねたひれ 30 a を設けた押出形材よりなるスペーサブロック 30 及び該スペーサブロック 30 と同形状でその外側に向いた面に取付用耳部 30 b' を一体に形成した押出形材よりなるスペーサブロック 30' を用い、入口及び出口のヘンダ 40 及び 50 として上記スペーサブロック 30 の一面に接続金具取付用の穴を設けて構成したものをを用いたことを特徴とする熱交換器。
- (2) 冷媒流路管 a を構成するプレート 2 の流路孔となる孔の周縁の一部に突起 2 b を形成し、スペーサブロック 30、30'、入口及び出口ヘ

ンダ 40、50 等の流路内面に上記突起 2 b が嵌合結合する凹溝を形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第 1 項記載の熱交換器。

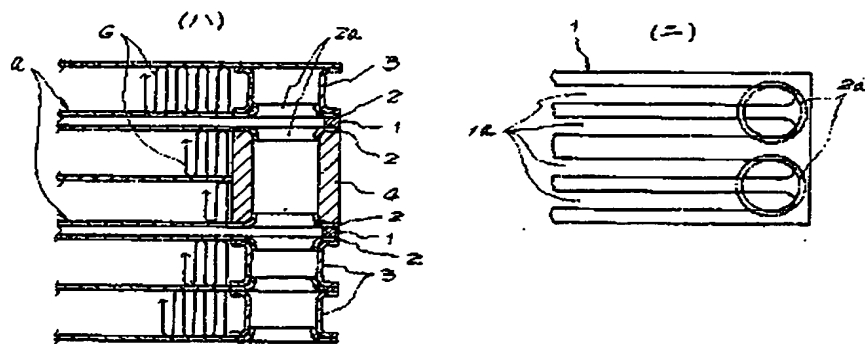
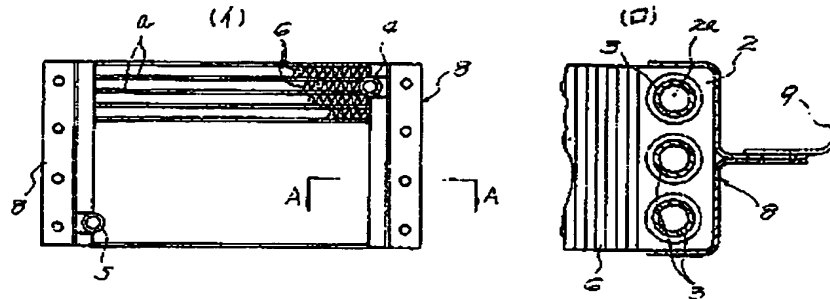
図面の簡単な説明

第 1 図イ、ロ、ハ、ニは従来構造を示す正面図、A—A 断面図、イ図の要部縦断面図及びチューブの一部平面図をそれぞれ示す。第 2 図イ、ロ、ハ、ニは本考案実施例の正面図、B—B 断面図、イ図の要部縦断面図及びハ図の C—C 断面図をそれぞれ示す。第 3 図は第 2 図ロに示すスペーサブロックの他の形状例を示す図である。第 4 図イ、ロ、ハは本考案の他の実施例を示す要部縦断面図、横断面図及びプレートの要部平面図である。

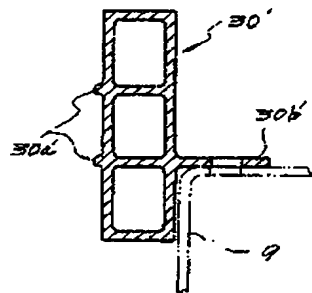
1……チューブ、1 a……スリット、2……プレート、2 a……孔、2 b……突起、30、30'……スペーサブロック、30 a、30 a'……ひれ、30 b'……取付用耳部、40……入口ヘンダ、50……出口ヘンダ、40 a、50 a……ひれ、40 b、50 b……接続金具取付用穴、30 c、30 c'、40 c、50 c……凹溝。

実開 昭55-24673(2)

第 1 回

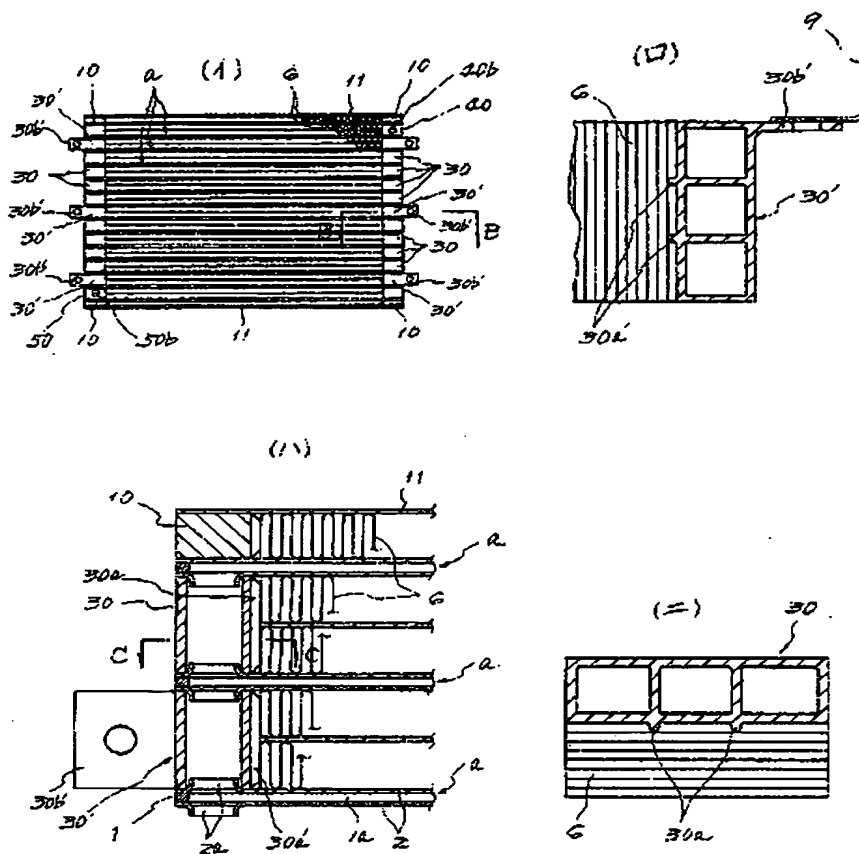


第3回



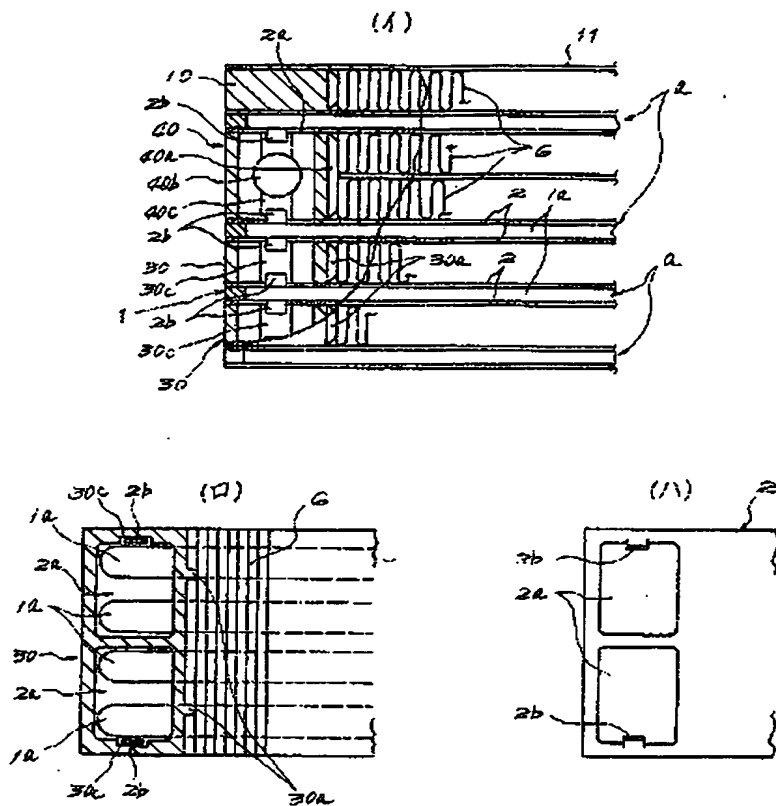
実開 昭55-24673(3)

第2図



実開 昭 5 5 - 2 4 6 7 3 (4)

第 4 図



BEST AVAILABLE COPY